

緩和治療科コラム

3. ACP (アドバンスケア・プランニング) をめぐる話題 (5)

緩和治療科 科長 山川 宣

「医療処置をやる・やらない」の結論を目標にするのではなく、「お互いの立場で意思決定過程を共有することを続ける」により、医学的専門性・生活の視点・患者や家族の想いをミックスしての意思決定がスムーズになり、責任の分散により「みんなで考えたのだからまあ…」思えるようになります。こうなれば DN AR か否かの結論はどちらでも良いのです。

診断当初から意識すると、「この先生とは何でも話し合える」「意見を聞いてもらえる」と伝わります。また、時折混ぜていた生活視点の雑談等で、相手の大事にしていることを把握できます。

そして難しい状況で、治療・生活について話す、これが ACP そのものです。SDM を行わない ACP はとかく「どうやって死ぬか」に焦点が当たりやすく、先日の人生会議広告のように否定的に受け止められてしまいます。SDM は最初から「どうやって治療するか、どうやって生活していくか」が目標ですし、ACP が一番の焦点になるべきで、つまりは同一のものとなります。

ACP の話題に長らくお付き合いいただきましたが、この SDM、多くの先生方はすでに多かれ少なかれ、日常診療で実践されています。ACP と身構えて特別扱いするのではなく、普段当たり前のことをちょっと意識する。それがいざという時にとても役に立つ、ACP の根幹部分であり、「どうすれば良いか」の答えの一つとなるわけです。

Information

新型コロナウイルス感染拡大に伴う 耳鼻咽喉科手術・嚥下トレーニング外来の延期について

新型コロナウイルス感染拡大に伴う『一般社団法人日本耳鼻咽喉科学会』の方針を踏まえ、当院で実施しております『経鼻手術』、『嚥下トレーニング外来』を5月以降までの休止を案内させて頂いておりますが、上気道粘膜との接触を伴う嚥下訓練と内視鏡下嚥下機能検査も含め、感染リスクの高い診療行為については、同様に、休止させて頂きます。なお、ご紹介につきましては従来通りお受け入れさせて頂きますのでご予約下さいませようお願い致します。

再開の時期につきましては、改めてご案内させて頂きます。患者様や先生方におかれましては、大変ご迷惑をおかけいたしますがご理解賜りますようお願い申し上げます。

ご不明な点などがございましたら、地域医療連携室までお問い合わせ下さい。

社会医療法人神鋼記念会 神鋼記念病院
耳鼻咽喉科 科長
浦長瀬 昌宏

Medical News

2020年4月
Vol.154

Shinko Hospital

Contents

- 特集呼吸器外科領域におけるロボット支援手術 (RATS: Robot Assisted Thoracic Surgery) について
- 開業医探訪 Vol.51
- 緩和治療科コラム
- インフォメーション

■神鋼記念病院理念

公益性を重んじ、質の高い医療を通して皆様に愛される病院を目指します。

■基本方針

1. 快適な医療環境と医療設備を整え、安全で質の高い医療を提供します。
2. 患者さんの人格や価値観を尊重し、プライバシーを守ることを約束します。
3. 断らない救急医療を目指し、地域社会の信頼と期待に応えます。
4. 地域の医療機関や行政との連携を密にし、切れ目のない医療サービスの提供に努めます。
5. 高い医療技術を持った人間性豊かなスタッフを育成します。

社会医療法人神鋼記念会
神鋼記念病院

〒651-0072 神戸市中央区臨浜町1-4-47
TEL:078-261-6711 (代表)
FAX:078-261-6726
URL:https://shinkohp.jp
発行責任者: 理事長 山本 正之
編集責任者: 神鋼記念病院広報委員長 松本 元

講演会などの
詳しい情報はこちらから!!

神鋼記念病院 🔍 検索

https://shinkohp.jp

神鋼記念病院 Medical News 2020

4

特集

呼吸器外科領域におけるロボット支援手術 (RATS: Robot Assisted Thoracic Surgery) について

■肺癌手術療法における当科の取り組み

近年肺癌は増加しており、男性では肺癌の死亡者数、死亡率ともに第1位となっています。また最近20年で、喫煙をしない女性の肺癌(腺癌)も増えております。肺癌対策は医療の現場のみならず、社会的に見ても大きな課題となっています。

現在日本では過半数の肺癌手術が胸腔鏡手術(VATS)で行われ、当科でもVATSを積極的に行ってまいりました。また術前術後の肺理学療法の導入や術後のQuality of Lifeを低下させないために、気道再建を含めた機能温存手術や、肺癌の根治度を上げるための術前化学療法も行ってきました。

ただし、近年はアジアや欧州では単孔式VATSが増加しており、北米ではロボット支援手術が普及しています。2018年4月より日本でも呼吸器外科領域のロボット支援手術(RATS)が保健適応となり、各施設で導入が進んでおります。現在のところ、ロボット支援手術がVATSを凌駕する成績はでておりませんが、手術時間、術中出血量、ドレーン留置期間、入院期間、術後合併症等の周術期データはVATSと同等かそれ以上とする報告もあります。



呼吸器外科 部長 柁屋 大輝
Daiki Masuya

香川医科大学を平成10年に卒業。
日本呼吸器外科学会専門医・評議員、日本外科学会専門医・指導医、日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医・指導医、癌治療認定医、日本医師会認定産業医などの資格を持つ。

RATSは胸腔内や縦隔内といった限られたワーキングスペースでの良好な操作性、精細な3D視野など、外科医にとっては魅力に富んでおりメリットは多いと判断し、当科でもロボット支援手術を導入しております。

肺癌のロボット支援手術

RATS のメリット

まず三次元のカメラを術者が操る事ができ、拡大視点などの利点があります。3D 視のできるモニターを用いて術野を認識することで、実物を見ることに近い視野で行うことができます。

またロボットアームに備わる多関節は、狭い胸腔内でも自然な方向からの剥離・切離を可能にします。RATS では手の生理的振戦を補正するので、繊細な操作を容易に行えます。それに伴い、深い場所での操作が必要なリンパ節郭清も容易になります。これらによって安全性と根治性の向上が期待されております。

RATS のデメリット

ロボットの最大の弱点は触覚の欠如であり、組織をつまんだり、引っ張ったりするときの力加減が分かりにくいことです。血管を encircle する際などに注意を要します。触覚の欠如は視覚で補う感覚が必要となります。また医療経済からみると高いコストとそれに見合うベネフィットが問題となっています。

メリット、デメリットはそれぞれありますが、RATS は鉗子等の手術器具の操作性は格段に優れ、さらに立体感のある 3D 映像を体感でき、それによって極めて精緻かつ安全な手術が実現できるとされています。高い技術を要する肺癌手術でこそ、ロボット支援手術の威力が発揮されると考えます。

当院での RATS 導入

当院では 2 名の呼吸器外科専門医がオンライントレーニングとオンサイトトレーニング、施設見学及び、ベーシックトレーニングを行い、certification を取得しました。RATS チームを立ち上げ、2018 年 10 月より呼吸器外科領域のロボット支援手術を開始しております。導入初期 (2018.10-2019.3) の症例においてもコンソール時間 (ロボットでの操作時間) は徐々に短縮されています (図 1)。ロボット手術ではセッティングに時間を要するため、単純比較は出来ませんが、VATS と変わらない手術時間となりつつあります。また、出血量も 30-100ml で、輸血を要することもなく、明らかな周術期合併症も来しませんでした。安全に初期導入が出来ており、現在も症例を積み重ねております。

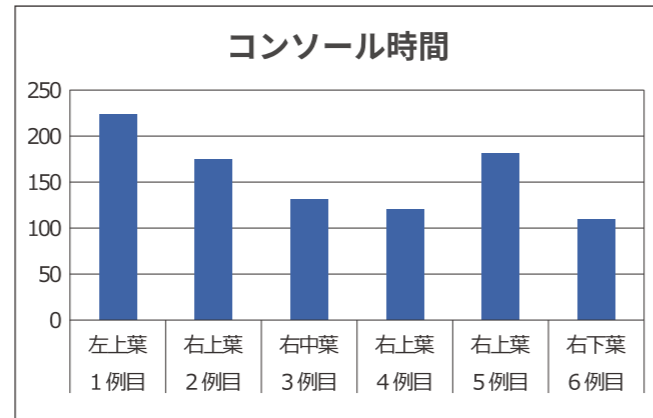


図 1: 導入初期 (2018.10-2019.3) の 6 症例でのコンソール時間 (ロボットでの操作時間)

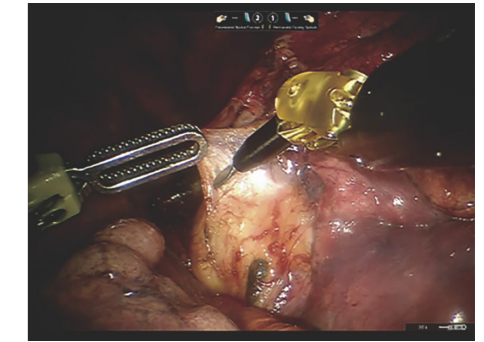
当科での RATS の様子



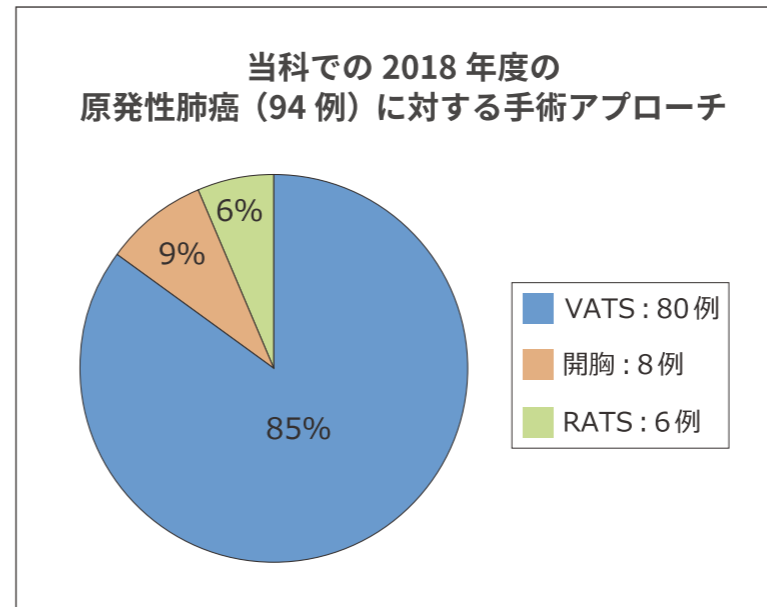
患者さんから数メートル離れた位置でロボットアームを操作しています。



アシスタント Dr. 2 名を含め、多くのスタッフによって手術を行います。



多関節をもつロボットアームと高倍率 3D 内視鏡を用い、精密な手術操作が行えます。



ロボット手術の展望

ロボット支援手術は高度な手術を低侵襲に行うるポテンシャルを有しております。単孔式手術のロボットシステムなども出てきており、今後はロボットシステムの更なる開発により、低侵襲で安全な手術が可能となってくると考えられます。RATS には外科医にとって課題を補って余り得るほどの操作の優位性・魅力があり、今後機器の進歩と共に、普及していく手技と考えられます。当科でも今後引き続き症例を積み重ねて、呼吸器外科領域においても専門性の高い医療を提供できるよう日々診療に励んでいきます。

開業医探訪

Vol.51 まつもと泌尿器科



2020 年度最初の開業医探訪は、阪急御影駅そばにあります「まつもと泌尿器科」へ訪問致しました。

— 診療を開始されてどれくらいになりますか？

2008 (平成 20) 年 5 月に幼少期から過ごしてきた御影で開業致しました。現在 12 年目に入っています。

— どのような患者さんが来院されますか？

泌尿器科のクリニックですので、ご高齢の男性が多く来院されます。前立腺肥大症や前立腺がんのフォローなどを行っております。また、女性で泌尿器科受診に抵抗をお持ちの方でも、比較的多くお越し頂いていると感じています。院内も安心して受診して頂けるよう内装を暖かい雰囲気にするなどを工夫しています。

— 診療にあたり心掛けていることは何ですか？

丁寧で分かりやすい説明を行うためには、最新の知識が必要になります。学会等を通じて常に情報を取り入れるように努めています。

— ひとつ

ロボット支援手術や *HoLEP の登場など、泌尿器科診療はこの 10 年で大きく変わりました。病診連携を行うなかで各医療機関の診療体制を把握し適切に紹介していくことが大切だと考えています。そして、前立腺の大きさなどを観察しながらの PSA のフォローやホルモン治療など泌尿器科のかかりつけ医として引き続き取り組んでいきたいです。

*HoLEP (ホーレップ): 前立腺肥大症に対するホルミウムレーザーを用いた手術

まつもと泌尿器科

〒658-0065 神戸市東灘区御影山手 1 丁目 4 番 9 号
クリニックイムブル K4 階

TEL: 078-855-0855

院長: 松本 修

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00 ~ 12:00	○	○	○	/	○	○	/
17:00 ~ 19:00	○	○	○	/	○	/	/

休診 木曜、日曜、祝祭日、土曜の午後